

教育委員会定例会（平成25年5月）会議録

1. 日 時	平成25年5月9日（木） 15:00～17:40
2. 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3. 出 席 者	委員長 伊藤 嘉秀 委 員 宮内 文久 長野 美和子 三木 由紀子 教育長 阿部 義澄 事務局長 藤田 佳之 総括次長 木村 和則 次 長 横井 敏行 坂本 睦美 課 長 加藤 京子 横井 邦明 渡辺 環 伊藤 繁次郎
4. 教育長の一般報告	教育長の報告 4月分行事報告及び5月分行事予定について その他
5. 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6. 会議の概要	<議 案> 議案第17号 新居浜市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第18号 平成25年度新居浜市奨学資金奨学生等の決定について <いじめ、不登校等生徒指導関係について> <その他> 教育委員会各課の課題・重要事業等について

伊藤委員長	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただ今から平成25年第5回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宮内委員さんと長野委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成25年第4回定例会会議録の承認につきましては、三木委員さんと宮内委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>4月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>3日 新規採用教職員着任式が執り行われ、新居浜市内の小中学校へ22名の新規採用教員が着任いたしました。また、今年度お世話になる講師・助教諭の50名の着任式も執り行われました。児童・生徒たちにとって最も近い世代として、成長して欲しいと思います。</p> <p>5日 平成25年度学校予算配分説明会が開催され、より有効な活用に努めていくことをお願いいたしました。昨年度予算より、27.5パーセント増加しています。</p> <p>6日から7日 平成25年度運動部活動競技力向上事業が新居浜商業高等学校体育館で愛知県の桜花学園高等学校バスケットボール部監督の井上真一先生の指導で開催されました。市内の高校生や中学生が1日につき約150名参加し、充実した2日間を過ごしたと思います。井上先生の「自分の良さを全面的に出し、悪いところは出さないように」「練習は試合を想定してしなさい」「バスケットは5人のコミュニケーションをとることが大事です。そのためには声を出すことです。」「高校生の試合では1クォーター10分の4クォーターの40分の試合です。5人で試合をするので一人約8分のボールの所持タイムです。残りの32分のボールを持たない時間の動きが大事です。」等の考え方が印象に残りました。</p> <p>7日 「第39回新居浜市民歩け歩け大会」が山根グラウンドと池田池公園を活用して実施されました。今年は約150名の参加でした。低気圧の通過のため強風に見舞われ、雨が予想されたため参加者が少なくなったようです。また、長年、地域体育・スポーツの振興に貢献されました金子校区神野哲男様をはじめ5名の方々が表彰されました。</p> <p>8日 平成25年度小学校入学式が各校で実施され、晴れて入学</p>

	<p>した児童は1,004名でした。昨年度より、32名の減少となりました。</p> <p>新居浜工業高等専門学校の平成25年度の入学式が実施され、入学生・編入生・留学生の233名が新たに学校生活を開始しました。</p> <p>9日 平成25年度中学校入学式が実施され、新居浜市全体で1,143名の生徒が新入学されました。昨年度より18名の減少となりました。新たな目標と希望の実現のために、充実した日々を過ごしてもらいたいものです。</p> <p>10日 平成25年度第1回小・中学校長研修会が開催され、新居浜市の教育等について説明が行われました。また、あすなろ教室の運営について紹介されました。</p> <p>11日 放課後児童クラブ指導員58名へ辞令が交付されました。</p> <p>教科・教科外主任・助言者合同会が金子小学校と宮西小学校で開催され、今年度の研修会を円滑に行うため、関係教職員に学校教育の指針の説明と年間計画の作成をいたしました。また、新居浜市教育委員会表彰式が行われ、東中学校阪本佳子教諭が表彰されました。生徒指導主事・女子バスケットボール部を全国大会に出場させ16位、県中学駅伝競走大会において県優勝に導き、平成24年度第20回全国中学校駅伝競走大会女子の部において第3位に入賞させました。</p> <p>12日 公民館事業関係事務説明会が持たれました。市内16館が移行して3年目となる地域主導型公民館の活動としての地域づくりが進展していくことを期待しています。平成25年度新居浜市公民館連絡協議会総会が開催され、24年度の事業報告や決算報告、25年度の事業計画や予算が審議され、決定されました。</p> <p>13日 第45回にいはま春の市民文化祭が美術の部・芸能の部の第5部までの内容で4月25日まで華やかに開催されました。美術の部の書道・日本画・洋画・版画等11部門で出品者数は478点、入場者2,353名、昨年より371名の減少、芸能の部の出場者・入場者は2,693名、669名の減少でした。</p> <p>16日 新居浜市中学校体育連盟評議員会が開催され参加いたしました。2017年実施予定の愛媛国体に関して、セーリング・ウエイトリフティングのジュニア養成への協力についてお願いをいたしました。</p> <p>16日17日19日22日 教育委員会の各課の平成25年度</p>
--	---

の取組についての教育長ヒアリングが行われました。

18日 新居浜市食生活改善推進協議会総会が『私たちの健康は私たちの手で』とのスローガンを掲げ、約300名が集まり開催されました。「歯周病と全身とのかかわりについて」の演題で新居浜市歯科医師会会長松木建二氏の講演が行われました。昭和48年4月の協議会結成からの40周年を記念して、「写真で見る40年の歩み・食改アラカルト」では活動の様子が懐かしい写真でつづられていました。

19日 平成25年度新居浜市連合婦人会大会及び第64回総会が開催され、長年ご活躍された方々への会長表彰がなされました。その後、前新居浜市長佐々木龍氏から「市長12年間を振り返って」の演題で講演が行われました。

第23回「新居浜市女性連合協議会」大会が「育てよう 未来 女性の手で」のスローガンのもとに開催されました。「平成25年度予算と新居浜市の動き」との演題で新居浜市長石川勝行氏が講演されました。

20日と27日から29日 市長旗争奪新居浜市中学校選手権大会が開催されました。また、20日と27日に平成25年度新居浜市中学校スポーツトップアスリート事業第1回講習会 バスケットボールが山根総合体育館で開催されました。講師には新居浜商業高校教諭窪田夕子氏（東アジア競技大会日本代表・ユニバーシアード日本代表）に市長旗争奪大会に参加していただき、夏に向け、今後の課題と練習方法についてコーチングしていただきました。

23日 第1回小中学校生徒指導主事会が「いじめ・不登校防止のために、各校においてどのような工夫、努力しようとしているか。」のテーマで協議が開催され、大津いじめ第三者委員会報告書を基に各校で取り組むことを依頼しました。

子ども読書の日を記念し、子どもの読書を推進する活動が顕著に優秀と認められる学校、団体として本市から、多喜浜小学校と民話の里・すみのが選ばれ、文部科学大臣表彰を授与されました。

24日 新居浜市総合文化施設建設工事安全祈願祭・起工式が開催され参加いたしました。市内の小学5年生に総合文化施設をどのように活用したいか等の思いの作文を書いてもらい、その代表として、高津小学校篠原葉珠子さん・惣開小学校石田泰輝さんが参加いたしました。その作文をお手元にお配りしていますので、後ほどご覧ください。

25日 第1回特別支援教育ハンドブック編集委員会が開催されました。通常の学級で学ぶ特別な支援を必要とする児童生徒に対する合理的配慮の重要性をかんがみ、市内の小中学校の教職員の手による特別支援教育にかかるハンドブックを発行することにより、特別支援教育の一層の充実を目指す目的で編集することになりました。編集委員会は5回程度を予定しています。

28日 第42回近県ソフトテニス新居浜大会が開催されました。

29日 平成25年度春祭り剣道大会が武徳殿で開催され、小学生や中学生、一般の団体と個人の試合がもたれました。小学生代表の力強い選手宣誓を聞き感動を覚えました。

30日 平成25年度子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞された「民話の里・すみの」の横川アケミさんと直野真寿美さんが、受賞の喜びを報告に、市長を表敬訪問されました。「民話の里・すみの」は郷土に根差した民話の保存・伝承、学校における朝の読書時間の読み聞かせ活動、放課後児童クラブや放課後子ども教室における子どもの居場所づくりにおいて活動を継続し、子どもたちの読書活動の活発化に貢献してこられました。おめでとうございます。

5月1日 平成25年度の新居浜市の小・中学生数は、小学校児童数6,519名の263学級、中学校生徒数3,461名の120学級となりました。これまで新居浜市内の小中学生数は1万人を超えていましたが、とうとう9,980名となり1万人を切ることになりました。少子化の影響を感じています。

3日から5日 2013「春はこども天国」事業が銅夢にいほまを中心として、開催されました。5日には市内32の保育園・幼稚園児童の「ぼくのゆめ・わたしのゆめ絵画展」の表彰式が行われました。絵画展には866点の応募があり、70点の優秀作品が表彰されました。昨年より約100点の増加となりました。

6日 新居浜市・別子山村合併10周年記念シンポジウムが開催されました。新居浜少年少女合唱団の国歌斉唱、新居浜市歌の合唱から始まり、平成15年の合併式典の時に埋められたタイムカプセル内に収められた手紙が発表され、「限界集落とは言わせない」のテーマでパネルディスカッションが行われました。

7日 平成25年度の東予教育事務所管理主事・市教育委員会合同学校訪問が始まりました。7日西中学校、8日高津小学校、9日

	<p>大生院小学校で実施されました。</p> <p>縣市町教育委員会連合会理事会が開催され、平成24年度の会務・決算、会計監査報告がされました。また、平成25年度の会務・予算について審議されました。記念講演が「地域に立脚する大学・学部像」の演題で愛媛大学教育学部長三浦和尚教授が行いました。なお、本市の伊藤委員長が縣市町教育委員会連合会の副委員長に就任いたしました。</p> <p>その他、5月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>9日 ふるさと学習現地研修会</p> <p>10日 学力向上推進委員会 船木小学校訪問</p> <p>11日 平成25年度新居浜市PTA連合会総会 人権のつどい日</p> <p>12日 第33回三浦杯少年剣道大会 少年補導委員協議会総会 自然散歩のつどい 運動部活動競技力向上事業 (新居浜商業高校体育館バスケットボール)</p> <p>13日 文化協会総会 南中学校訪問</p> <p>14日 租税教育推進協議会</p> <p>15日 中体連部活動顧問会 大生院中学校訪問</p> <p>16日 臨時市議会 保護司会総会</p> <p>17日 四国都市教育長連絡協議会総会 第1回教務主任研修会</p> <p>18日 別子銅山を読む講座「鈴木馬左也」(別子銅山記念図書館)</p> <p>19日 校区運動会 SST研修会</p> <p>21日 校長会</p> <p>22日 管内教育長会</p> <p>23日 第1回就学指導委員会 新居浜市青少年センター運営協議会 千葉県香取市より行政視察(発達支援課)</p> <p>24日 Q-U研修会(校長、担当者)</p>
--	---

	<p>25日 心理アセスメント学習会 28日 「えひめ教育の日」推進会議総会 市町教育委員会教育長会議 第2回学校支援員連絡会 29日 所管事務概要説明会 惣開小学校訪問 30日 東中学校訪問 第2回小・中学校教頭研修会 31日 ふれあい運動会（市民体育館） 以上で、一般報告を終わります。</p> <p>伊藤委員長</p> <p>ありがとうございました。ただいまの教育長の一般報告について何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、議案審議に移ります。本日の議案は、第17号、18号の2議案でございますが、17号は人事案件、18号は個人の情報に関する議案でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>委員一同</p> <p>はい。</p> <p>伊藤委員長</p> <p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。</p> <p>阿部教育長</p> <p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。 <資料に基づき説明></p> <p>伊藤委員長</p> <p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>それでは、その他に移ります。各課の課題・重要事業等について、社会教育課から順に説明をお願いいたします。</p> <p>木村総括次長</p> <p>はい。それでは、平成25年度新居浜市教育委員会重点事業についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、社会教育課からご説明いたします。</p>
--	---

<p>加藤学校教育課長</p>	<p><資料に基づき説明></p> <p>学校教育課からご説明いたします。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>横井スポーツ文化課長</p>	<p>スポーツ文化課からご説明いたします。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>渡辺発達支援課長</p>	<p>発達支援課からご説明いたします。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>伊藤学校給食課長</p>	<p>学校給食課からご説明いたします。学校給食費の未納対策として、まず別表の未納状況からご説明いたします。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>坂本次長</p>	<p>図書館からご説明いたします。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。各課の重要事業についてご説明いただきましたが、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>2つほどお尋ねしたいのですが、まず社会教育課に公民館主事の社会教育主事取得の推進の意義と効果について教えていただけないでしょうか。</p>
<p>木村総括次長</p>	<p>まず、社会教育主事は2か月ほど大学等で地域社会、地域コミュニティの推進ということで勉強してきてもらいます。今、市内で13名いるのですが、公民館主事につきましても任期があって退職される方もおりますので、今後更新も行っていきたい。もう1つは、先ほども少し申し上げたのですが、公民館主事はどうしても配属された公民館だけの中の事業を推進するという傾向が強いのですが、同じ社会教育主事を取られた公民館主事同士が横の連携を図って、市内でこの公民館でいいことは隣の公民館でもまたしたらいいなということで、主事のレベルを上げるという意味で社会教育主事を取っていただく。そういうことが、今後の地域主導型公民館の発展につながると考えております。</p>

宮内委員	<p>わかりました。次は学校教育課にお尋ねしたいのですが、Q-Uを実施されて、その時の広報と言いますか、結果を学校に通知するなどもう少し詳しくどのように活用するのか教えていただけないでしょうか。</p>
加藤学校教育課課長	<p>今年度は新居浜市学力向上推進委員会の設置をいたしまして、そこで3つ実践部会を設置するようにしております。今からですが、授業力の向上委員会、学習環境委員会、個別支援委員会の3つの組織を立ち上げまして、Q-U自体も6月と11月に実施予定ですのでその成果を見まして、実際にそれをどのように学習環境、居心地の良い学級、楽しい学級に活かしていけるかというのを今からみんなでも検討しながら実際の学級経営に活かしていくということでございます。今すぐにこういう成果が出るというものではございませんが、今月、校長と担当職員対象の研修会を開催しまして、勉強していくということになっております。</p>
阿部教育長	<p>補足いたします。Q-Uは以前には北中校区と東中校区、南中校区で実施してきましたので、約4分の1程度は伝わっていると思っておりますが、今年度初めて全市的に取り組みますので足並みをそろえる為に、今課長からの話であったように、まず今月24日は学校長と担当者の研修会を行います。そして夏休み中に特別支援教育も含めて生徒理解ということで、このQ-Uを初めて開設した早稲田大学の河村教授に来ていただき、全教職員対象に一日研修を全市的に行います。そして6月に実施したQ-Uの実際の調査が7月末には返ってきますので、夏休み中には各学年ごと、または学級担任で調査研究し、9月1日から子どもたちの方へ活用をしていきます。11月に実施した分は冬休み中に見直して3学期に使うという形でQ-Uの活用をしていきたいと思っております。</p>
宮内委員	<p>ありがとうございました。</p>
伊藤委員長	<p>その他、ございませんでしょうか。</p>
長野委員	<p>私も2点ほどお願いします。まず学校教育課のふるさと学習について、25年度の取組を見ますと中学1年生が8校、2年生が1校、</p>

	<p>3年生が1校で、中学校は各学校とも一度は学習に取り組むということになっているのですが、取組方は宿泊を体験したり、一日だけなどいろいろあるのですが、具体的には旧別子の方や東平の方、遠登志から上がったたり、旧別子の方から上がったたりいろいろな取組があるとは思いますがどのようにして行っている学校が多いのでしょうか。昨年も行ったのではないかと思うのですが。</p> <p>ふるさと学習については昨年度から取組を始めました。小・中9か年で新居浜の歴史、または、かつての先人のあゆみを探っていこうというようなことで取り組んでいます。小学校3年生、4年生は「わたしたちの新居浜市」という教師が作った副読本を使っています。そして5年生には、4年生の学習を深める、ふるさと博士になろうというような形の小冊子を作って配布しています。小・中で実際に自分の足で旧別子から東平、そしてできることなら四阪まで歩いてみて新居浜の歩みを知る。明治の時に行った植林、今で言う環境保全、そのようなものを実際に知るということで、一泊や二泊、また一日といった形で取り組んでいます。その際バス代の補助をするようにしています。それにつきましては、中学1年でも3年でも、学校の行事の中で取り扱ってもらっています。9か年の間で新居浜の歴史を知るといような取組の仕方をしています。西中または角野中が一泊なり二泊、他の学校が一泊、一日というようなところで取り組んでいます。ただ、銅山の里を使いますので、雨天になると非常に厳しかったり、台風等の後の道路状況など非常に難しい時もあるかもしれませんが、そのような形で新居浜のふるさとを見つめさせたいという思いで実施しております。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>ふるさと学習については昨年度から取組を始めました。小・中9か年で新居浜の歴史、または、かつての先人のあゆみを探っていこうというようなことで取り組んでいます。小学校3年生、4年生は「わたしたちの新居浜市」という教師が作った副読本を使っています。そして5年生には、4年生の学習を深める、ふるさと博士になろうというような形の小冊子を作って配布しています。小・中で実際に自分の足で旧別子から東平、そしてできることなら四阪まで歩いてみて新居浜の歩みを知る。明治の時に行った植林、今で言う環境保全、そのようなものを実際に知るということで、一泊や二泊、また一日といった形で取り組んでいます。その際バス代の補助をするようにしています。それにつきましては、中学1年でも3年でも、学校の行事の中で取り扱ってもらっています。9か年の間で新居浜の歴史を知るといような取組の仕方をしています。西中または角野中が一泊なり二泊、他の学校が一泊、一日というようなところで取り組んでいます。ただ、銅山の里を使いますので、雨天になると非常に厳しかったり、台風等の後の道路状況など非常に難しい時もあるかもしれませんが、そのような形で新居浜のふるさとを見つめさせたいという思いで実施しております。</p>
<p>長野委員</p>	<p>ありがとうございます。すごくいい事だと思います。西条市は5年生の子どもたちが石鎚山へ登山をして、わたし達の山、地域の山を登るといのが定着している事を聞きますし、新居浜も銅山という旧別子も含めて東平のあたり、これも本当に新居浜の原点となる地域ということ子どもたちにどこかで体験させる、実感させるという活動をこれからも続けていただきたいです。しかし、先ほど教育長さんからの話にも出ましたが、銅山の里が道路状況で非常に使い勝手が悪い時があるということもあると思いますが、もしそのような時には、旧別子の方であるならば三島の方から回って行くこともできると思います。私も4月末に行ったのですが、その時のガ</p>

渡辺発達支援課長

イドさんが新居浜から中学校2校ほど申し込みを受けていますという話もされていましたが、あちらも遺産群がずっとあって、ここから新居浜が始まったのだなと感じられますし、本当に子どもの足でも十分上がれる所ですし、東平の方へも行けるのであれば下りていくということもできます。昨年始まり、これからいろいろ形、やり方も成熟していくと思うのですが、やはり体験として大事にして、市の方からもたくさん予算をいただいて活用していただけるようにこれからもお願いできたらと思います。

もう一点よろしいですか。発達支援課の方をお願いします。いろいろな講演会や研修会を計画して、新居浜市の発達支援課は本当に進んだ取組だということで、現場の学校にも本当に大きな支えに今はなっていると思います。いろいろな研修会をたくさん用意されてもう何年も継続されているのですが、直接子どもたちに関わる先生方はもちろん研修会を利用して勉強されているとは思いますが、大事なのはそういった先生方たちと、通常の学級であっても学級の中にはいろいろな子どもたちがいますので、そういう先生たちにそういった研修の内容がどれだけ広がっていくのか、やはりそのあたりが大事だと思うのですが、このような研修会に参加される先生方はどのような先生方が多いのでしょうか。一般の先生方もたくさん参加されているかどうか、もしわかりましたら教えていただけたらと思います。

通常の学級の先生たちもかなり参加して下さるようになっております。それでもまだまだ心理アセスメントの教室などということになりますと、かなり専門性が高くなりすぎて、最初は参加されている先生もいらっしゃったのですが、発達検査等などかなり専門性が高くなるとやはり少し参加が減少傾向でした。今年度は新たに、基礎からということになるべく多くの方に参加してもらうような取組に変えております。研修を計画しますと多くの教職員の方が興味・関心を持たれて、特別支援教育の勉強をしたいという強い意欲を持たれていることを日々感じております。また、今年度は先ほどご報告いたしましたハンドブックの作成を予定しています。これにつきましても通常学級の担任の先生が授業展開をしている中で、発達障がいを持たれた子どもさんへの支援の仕方をテーマにして、特別支援学級を担任している先生だけではなく、通常の学級担任教諭も含めて校内委員会を中心にして、学校の先生たちと一緒に

<p>阿部教育長</p>	<p>に交流して事例を出していただくというような形で取り組んでおります。支援の工夫によって、普通の学級のクラスの学級運営が上手くいくかどうかというところを問題提起しながら、ハンドブックを作成しようということになっております。このような取組を通して、通常学級の先生方への巻き込みと申しますか伝え合いや広がりのある取組を今後も充実していきたいと思っております。</p> <p>少し戻って補足します。まずふるさと学習ですが、昨年5校の中学校が南校のユネスコ部の子どもたちに依頼をして、東平、旧別子の案内をしてもらいました。今年もまた南校のユネスコ部の子どもたちにお願いをする予定です。また、小学校5年生で「ふるさと博士になろう」の学習をして、6年生の1月に新居浜検定のジュニア版を全市一斉に受験する予定にしています。そのような形で深めていこうと思っています。</p> <p>発達支援課のハンドブックについて、小学校1年生から6年生、中学校1年生から3年生までの各教科1単元の教材をどう流していけばいいのかという形で、小学校1年生では8教科、中学校では9教科の全部で80数項目と、通常学級で担任が陥りそうになる事例を約100項目、それを市内の各学校がQ&A方式で出して集約していく、新居浜市全教員660名での手作りのQ&Aを作っていくというのを発達支援課が取り組んでいます。その為に、各学校代表1名がハンドブック作成編集委員としています。それを元に学力向上推進委員会の学習環境部会で取り組んでいくという方式でいきます。</p>
<p>伊藤委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。他にご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>私の方から何点か教えてください。まず社会教育課ですが、小中学校の運動場の照明の更新についてですが、平成24年度に照明が落下したことがあったと思いますが、それを受けての更新という意味なのでしょうか。</p>
<p>木村総括次長</p>	<p>委員長が言われるように、昨年春先だったと思うのですが照明器具の安定器の落下という事故がありまして、その時に小中学校含め公共施設全ての照明器具の再点検をしました。そして、落下防止の緊急措置は昨年度させていただいたのですが、落ちた安定器の部分だけではなく、照明自身の枠、照明を抱えている枠の老朽化が大変</p>

	<p>ひどいということがわかりました。また、全市的にアセットマネジメントという長寿命化というものがあるのですが、そのような中にそれを入れて、照明について特に今年重点的に入ってきたという形になります。事故が発端ではあるのですが、いい方向に進んでいる事です。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。次にスポーツ文化課に2点教えていただきたいのですが、文化センターの耐震についての計画を出していただいているのですが、市内でその他に教育委員会がスポーツ文化として管理している施設、体育館などで耐震の工事ができていない所はどのくらいあるものなのでしょうか。</p>
木村総括次長	<p>前任者としてお答えします。昨年文化センターの耐震補強工事の設計委託と調査をさせていただきました。もう一つは市民体育館の耐震診断の委託を予算化しておりましたが、いろんな事情がありまして落札にいたっておらず、委託実施ができておりません。予算的には繰越措置をしまして、今年度再度市民体育館の耐震補強調査というのを予定しています。他の施設につきましては、耐震診断が必要である規模や建設年度など対象になっておりませんので、今後すぐに耐震診断をしなくてはならないという施設については今のところ他にはございません。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。それともう1点なのですが、2017年に国体が予定されていると思うのですが、それに対する取組が今年度は書かれていないのですが、何かございませんでしょうか。</p>
横井スポーツ文化課長	<p>国体につきましては、今年度専任の係長を一名設けておまして、その人間を中心にスポーツの方の担当者も手伝いながら、非常勤一名という体制で今は取り組んでおります。4月、5月初めにつきましても愛媛県並びに他市と、来週には東予4市で意見交換をしようという会も設置しまして、愛媛県との連絡を取りながら進めているところでございます。</p>
阿部教育長	<p>少し補足しますと、新居浜市は、セーリング、ウエイトリフティング、サッカー、野球の四種目の会場となります。そのうちセーリングとウエイトリフティングについては全種目を新居浜で行いま</p>

	<p>すが、中体連にはそのような種目はありません。しかし、現在中学生ではウェイトリフティングは1名、セーリングは3名実際にやっている子どもがいます。またジュニア、小学生ではウェイトリフティングについてもセーリングについてもしている子どもがいます。ただ、中学生についてその様な大会に出る場合、教育委員会からの支援として、中体連の種目は通常日授業に参加しなくても、大会に参加している場合は公休、出席扱いとしますが、今まで中体連にこれらの種目がなかったため、今までは欠席扱いになっていました。それで25年度から、選手の養成ということで、そのような子どもたちを支援するために、保護者または協会が参加する場合は大会要項を学校長に提出をして、県大会または全国大会など大会内容によって中体連の大会に見合うようなものであれば大会への出席を認め、25年度からは欠席扱いにはしないというような取り扱いにするように推し進めるという意味合いでやっています。また、市内の高校にはセーリング部が作られるという話も聞いています。</p>
伊藤委員長	<p>ありがとうございます。その他、ご意見ご質問等ございませんか。それでは各課の課題・重要事業等につきましては閉じさせていただきます。</p> <p>その他の報告は、ございませんでしょうか。</p>
阿部教育長	<p>お手元にユネスコスクール勉強会について（案）という資料があると思います。5月21日14：00から15：30まで市役所5階大会議室で、文部科学省のユネスコ担当の国際統括官の本村さんに来ていただいてユネスコスクールについての説明、持続発展教育（ESD）についての説明をしていただきます。できましたら教育委員さんもご参加していただけたらと思います。なお、小中学校の校長、新居浜ユネスコ協会の若干名の参加を予定しております。その後の時間に懇談会、今後の取組について意見交換会をしたいと思っております。できましたら最初の説明会からご参加していただけたらと思います。</p> <p>次に、市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会の結果をお配りしていますので、後ほどご覧ください。</p> <p>また、高校生の運動部活動競技力向上事業に中学生も参加し、その時の子どもたちの感想をお配りしています。前向きな感想が多いので後ほどご覧ください。</p>

伊藤委員長	<p>もう一つは、4月中の新居浜市の子どもたちの活躍についての新聞記事を読んでいただけたらと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。他に連絡事項等ございませんか。</p> <p>それでは、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思 います。6月の定例会は、6月6日木曜日の15時より開催させて いただきます。</p> <p>それでは、平成25年第5回新居浜市教育委員会定例会を一度閉 会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p><以下、議案第17号、18号について、非公開にて審議></p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
-------	--